

別紙 2

異文化理解促進プログラム協力講師 自己紹介

※公開可能な内容のみ記載ください。



名前：スックセワバンデット ワンナソン

職業：学生

所属：広島大学

専門分野：観光

日本語レベル：中級

英語レベル：上級

出身国や外国で過ごした経験について教えてください：

私はタイ出身で、カンチャナブリ県で生まれ育ちました。大学時代には英語を専攻し、アメリカで3ヶ月間インターンシップを経験しました。さらに、台湾で2ヶ月間、教育に関するボランティア活動も行いました。その際には、タイの文化について小学生や中学生に教えました。また、短期間ではありますが、東京外国語大学に留学した経験もあります。

広島の児童・生徒たちにどんなことを学んでほしいですか：

私は、生徒たちに「多様性を尊重する心」と「異文化への興味」を育ててほしいと思っています。自分と異なる文化や価値観を理解しようとすることはグローバル社会でとても大切です。タイの文化や考え方も紹介しながら、お互いに学び合えるような授業をしたいと思っています

自己紹介を自由に記載してください（写真などもお使いください）：

私はタイ出身のワンウェイと申します。今は、広島大学の大学院生です。研究テーマはアニメツーリズムについて研究しています。これまでにアメリカで3ヶ月のインターンシップを経験したほか、台湾では2ヶ月間、小中学生にタイ文化を教える教育ボランティア活動に参加しました。また、日本への関心が強く、東京外国語大学での短期留学を通じて、日本の文化や言語にも深く興味を持っています。異なる国での生活経験を通して、多様な価値観を理解し、柔軟に対応する力を身につけることができましたと思います。今後は、私の国際的な経験を活かして、異文化交流や国際理解の架け橋となれるよう努めたいと考えています。

